

よりとしてザムのへりにぶっかるんだな。それが今は  
 どうだ。夢物語だ。  
 とに角、霞ヶ浦をきれいにするには、霞ヶ浦沿岸に  
 住むすべての住民、企業が協力して、汚さをいように  
 しない限りだめだな。そして、まあこれは無罪な注文  
 だろうが、トロールは止めて、帆曳船にすれば、資源  
 の枯渇という問題も解決できるわけだ。しかし、この  
 ままでは、百年河清を待つべしだな。もとの美しい自  
 然環境を取り戻す事は出来ないうよ。

土 浦 音 頭

詞 横 瀬 夜 雨  
 作 弘 田 竜 太  
 曲 竜 太

一、船が見えそろ 霞ヶ浦の

千般萬艘の帆曳船  
 船が見えそろ 土浦入りに  
 風をはらんだ 帆曳の船が  
 恋知り初めし 十六七の  
 娘心は 白魚が海老か  
 人は知らじな 公魚は

二、松のやまいに よしとかや さて

松になりたや 有馬の松に  
 藤にまかれて ねどござる  
 藤にまかれて 巻かれて藤に  
 藤にまかれて ねたというた  
 有馬の松は こらや 知らねども  
 お城の跡に 大きな大きな  
 榎の木 宿して ぬつと立つ  
 松を見しやんせ あれ男松

三、男山 女山の しづくを受けて

淵となりたる 桜川  
 月よし雪よし さをさしやどどく  
 屋形屋形の あのさんざめき  
 船はヤハでも 炭薪つまぬ  
 春はうれしや 霞とともに  
 花ははらりと 咲くならば  
 さぞや弥生の なあ人心